

ユーティリティ
シリーズ

YouTube

で検索!!

水性軽モル



水性なのに
のように施工可能



9L

コンクリート充填補修用
軽量水性樹脂モルタル

水性 軽モルタル

超軽量で
エポキシの様な
抜群の作業性

水で練って
水で洗える
から楽々施工

**溶剤
不使用**
だから無臭!
環境にも優しい

70分で
硬化する
速硬型

補修前

充填

成形



上裏、深い欠損も
一発補修!

プライマー不要! ダレない! 成形性◎! 周囲を汚さない! から簡単

※縦割補修の場合は「水性軽モル樹脂プライマー」を使用



ヤブ原産業株式会社
YABUHARA Industry CO., LTD

水性軽モル

超簡単
5ステップ

施工手順



- ① 脆弱部分の研り・ケレンを行い、塵埃・土砂等をほうき、ブラシ等で清掃します。埃・砂などが残っていると剥がれの原因となります。処理後も下地が脆弱な場合は「ガッチリ浸透プライマー W」で強化します。
- ② **【欠損の場合】**
補修箇所全体をドライアウト防止・接着増強のため、しっかり水で湿らせます。
【爆裂の場合】
補修箇所全体に「水性軽モル防錆プライマー」を300g/m²を目安に塗布します。
- ③ 本製品をポリ袋等に移し、製品100gに対して28gの水で混練します。必要に応じて、水量を変えて粘度調整が可能です。
- ④ 下地が十分湿っていることを確認し、(乾いている場合は再度水打ち)下地の凹凸にすり込むように指先で入念に下塗りを行います。
※「水性軽モル防錆プライマー」を塗布した場合は不要です。
- ⑤ 下塗り(爆裂の場合は「水性軽モル防錆プライマー」)が乾燥する前に、混練した本製品を補修箇所に充填します。補修箇所を覆うように、大きめに充填した後、金ゴテ・ヘラ等で余剰分を切り取り、表面を成形します。材料は30分以内に使用してください。(23℃時目安)

■ 用途

- ・コンクリート構造物の欠損・爆裂部の補修
- ・不陸、段差部の調整

■ 施工面積

- ・約7L(練上がり量)分の欠損
(10cm角、深さ2cm×35箇所)

■ 荷姿

※荷姿は事前の予告無く変更になる場合があります



水性軽モル 9L



水性軽モル
防錆プライマー 500g

※爆裂の場合のみ使用

この他にも大面積用、お試用サイズもご用意しております。
詳しくは販売店にお問合せください。

■ 次工程への間隔時間 (23℃時の目安)

- ・水性塗料・モルタルを施工する場合は、3時間を目安としてください
- ・溶剤系材料を施工する場合は、翌日以降としてください

■ 適用仕上材

- ・セメント系材料、陶・磁器タイル、各種塗料、
各種防水材などが施工可能です

■ 塗り厚 ※上げ裏面、10cm角の欠損

- ・3～35mm程度

■ 技術データ

従来改修標準仕様 欠損部充填用ポリマーセメントモルタルの品質基準(Ⅲ)

項目	結果	基準値
練上がり量	7.3	6.0以上
日経減量	34.4	20.0以上
付着量	標準	2.1
	凍結後	0.9
	乾燥後	0.7
だれ	下がり量	0
	表面状態	異常なし
圧縮強度	合格	5以上

従来改修標準仕様 新築修復用ポリマーセメントモルタルの品質基準(Ⅲ)

項目	結果	基準値
練上がり量	7.3	6.0以上
日経減量	34.4	20.0以上
付着量	標準	2.1
	凍結後	0.9
	乾燥後	0.7
浸水率(2時間浸水)	5.5	20.0以下
透水率	0.05	0.5以下
含水率変化	0.06	0.15以下

練上がり量
約7L

■ 施工上の注意

●既調合品なので水以外には加えないでください●硬化時間は気温により変化しますので、ご注意ください。夏(35℃)は、混練後30分程度で、冬(10℃)は、130分程度で硬化します●手で施工する場合は、必ずゴム製等の水等が浸みこまない保護手袋を着用してください。材料はアルカリ性が強いので、肌荒れ、炎症のおそれがあります●作業時に粉体を吸い込まないようにしてください。眼に入らないようにしてください。必要に応じて保護マスク、保護メガネを着用してください●床面で露出仕上げは推奨しません●車両走行を想定した床面では「マッハコン」の使用を推奨します



ヤブ原産業株式会社

本社 〒334-0054 埼玉県川口市安行北谷546
☎ 048(297)4111 Fax 048(290)1198
URL <https://www.yabuhara-ind.co.jp/>
E-mail hanbai@yabuhara-ind.co.jp

株式会社シービーエム